



くつろぎたいむ

Vol. 83

2023 Winter

迎春

2023



新年のご挨拶

院長

大居 慎治

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が始まって4年目になります。2022年の7月から9月までのいわゆる第7波の衝撃は記憶に新しいところですが、第8波と呼ばれているこの年末年始の状況も予断を許さず、のんびりと新年を祝う気持ちになれない方も多いのではないかと思います。

第7波では院内でのコロナ発症、職員の感染や濃厚接触者となる例が続ぎ、一時は60人を超える職員が休業する事態となる一方、市中での感染が急速に拡大し、確保病床以上に収容せざるを得ない日々が続きました。入院調整も困難を極め、救急病院である当院に患者さんが集中するという事態にも見舞われました。このような中でも圏域の基幹病院としての使命があり、救急や待ったなしの疾患の治療を優先したため、一部の患者さんの入院や手術を延期せざるを得なくなり、大変ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。このような中、職員が一丸となって精励し、医療崩壊させることなくコロナ診療と救急医療とを両立させ地域の医療を守り抜けたことに少しホッとしています。

さて、2023年のキーワードは医療と介護の連携です。高齢化が進む中、医療だけでは完結しないことが多くなっています。地域の医療機関が役割分担し、介護との連携を強め、地域全体で支える仕組み作りが急がれます。医療介護の関係者による協議の場を持ち、認識を密にするとともに、住民の皆様にもご理解をいただくような機会も設けたいと思っております。

コロナが今年こそは収束し、皆様に幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

今年もどうか宜しくお願い申し上げます。

1 運動器リハビリ

大腿骨骨折や外傷など、整形外科疾患の患者さんに早期からリハビリをおこなっています。入院前の生活に戻るため、手術後にはベッド上からリハビリを開始し、起き上がり訓練や車椅子への移乗、平行棒や杖、歩行器を使用しての歩行訓練をおこなっています。



2 脳血管リハビリ

休日にもリハビリがおこなえるよう7人の理学療法士でチームを組んでいます（令和5年1月時点）。脳血管疾患の患者さんに対するリハビリで大切なのは早期におこなうこと、高頻度で時間をかけることです。それがより効果的と言われています。チーム内で連携し、より良いリハビリを提供できるよう体制を整えています。



3 心臓リハビリ

心不全、心臓手術後などの患者さんは、心臓の働きが低下し、運動能力やからだの調節の働きが低下しています。安静生活を続けることもその原因となります。そのような患者さんひとりひとりの状態に応じた効果的なリハビリをおこない、どの程度活動してもよいか医師とともに検討し、指導しています。



4 呼吸器リハビリ

人工呼吸器を装着している患者さんなどに対して、身体機能の向上と呼吸困難の軽減、術後呼吸器合併症の予防、日常生活動作能力の改善を目的に早期離床、体位排痰、呼吸法の指導、リラクゼーション、筋力・持久力練習をおこなっています。



5 がんのリハビリ

がんの治療に伴う体力低下などにより、日常生活に必要な動作が難しくなった方や、その傾向がある方に対して、運動療法をおこなっています。その他、リンパ浮腫に対して専門のスタッフによる治療をおこなっています。どのような治療時期でも対応が可能であり、その人らしい生活を支えるサポートをしていきます。



7名の作業療法士が従事しています（令和5年1月時点）。脳血管障害、上肢の外傷のみならず、様々な病気、怪我で入院された患者さんの食事動作・トイレ動作などの日常生活動作の回復に向けて、それぞれの患者さんに応じた治療をおこなっています。



食べたり、飲んだりすること、話したり聞いたりすることが難しくなった方のリハビリをおこなっています。まず検査で状態を確認し、ひとりひとりにあった訓練の実施と生活環境の調整をします。自分らしい生活ができるよう支援をおこなっています。



リハビリテーション部門紹介

Rehabilitation Division



世間で「リハビリ」という言葉は一般的になりましたが、その内容にはいろいろな種類があります。当院でのリハビリは、入院による足腰の弱まり、生活リズムが崩れ精神的に不安定になりそうな患者さんなどにも、それぞれの患者さんに応じたリハビリを提供しています。何かお困り事がございましたら気軽にお声がけ下さい。

多々納 リハビリテーション技師長

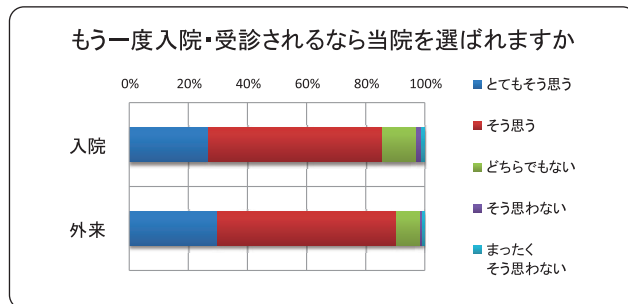
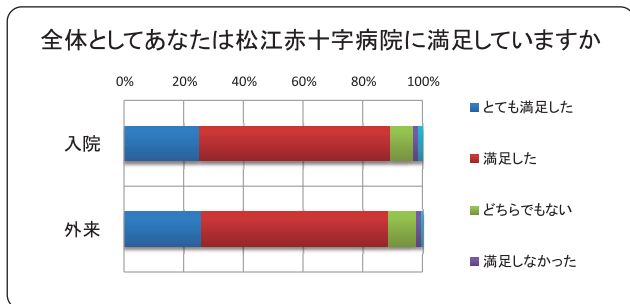
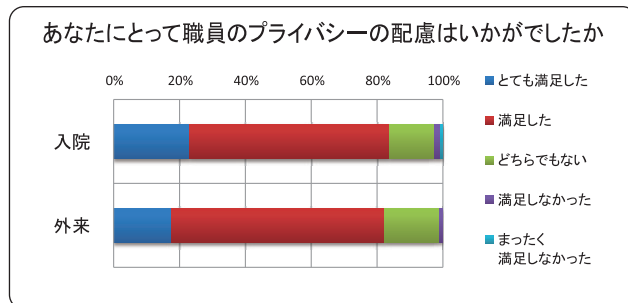
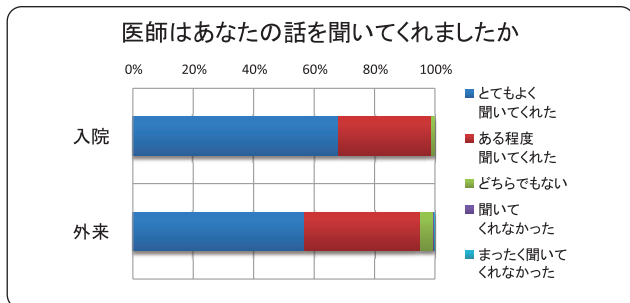
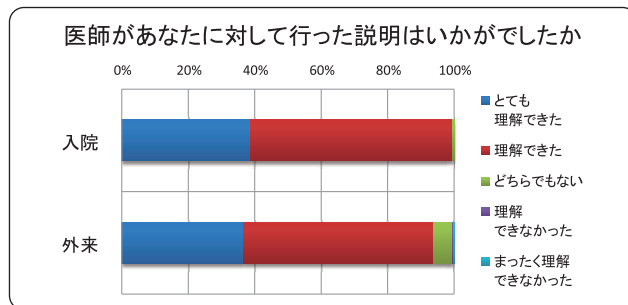
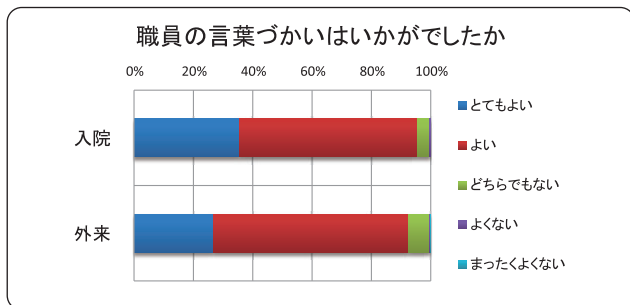
令和4年10月に行った患者満足度アンケートの結果をご報告します

調査期間 2022年10月24日～10月28日 回答数 外来患者(513名)・入院患者(174名)

当院への満足度を
5点満点で評価して
いただいた結果・・・

	評価が高かった項目	評価が低かった項目
外来	医師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.5点	待合室の環境はいかがでしたか 3.8点
入院	医師はあなたの話を聞いてくれましたか 4.7点	食事の献立はいかがですか 3.5点

入院・外来ともに、「患者さんの話を聞いている」ことについて評価を頂きました。不安を抱えている患者さんからはとても安心感を得たという意見を頂いております。「待合室の環境」について時間帯によって「椅子が足りない」「狭い」というご意見を頂いております。また、「食事の献立」については「うす味で味気なかった」「固かった」というご意見を頂いております。しかし「食べやすいように配慮いただいた。」というご意見もあります。食事については、「朝は、サラダが食べたい。」「洋風の食事が多い。和風がいい。」という好みの問題もあり、難しいところではありますが、ご指摘いただいた内容につきましては、より良い医療サービスの向上に繋げてまいります。



Hello Doctors

新規採用医師紹介



脳神経外科
ヤスオカ ユウキ
安岡 悠希

10月から松江に転勤して参りました。患者さまに安心して過ごしていただけるよう、笑顔で接することを心掛けています。お気軽にご相談ください。



- 病院理念……わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。
- 基本方針……
- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
 - ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
 - ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
 - ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。
 - ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。

+ 松江赤十字病院 『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

① 自分の健康に関する正しい情報の提供 ② 医療への積極的な参加 ③ 病院の規則を守ること ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力